

もうすぐ冬休みに入る。年末年始には楽しい行事がたくさんある。皆さんの予定はどうなっているだろうか？話は全く変わるが、私が「書」の道を進もうと決意したのは高校3年生の頃だったと思う。その道を進みだしてそろそろ10年の節目を迎える。10年と書くと長いようであるがそうでもないような気もする。これまでに残してきた作品達を眺めてみると、少なからず技術的な進歩はしているのだけれど、一つの作品と向き合う精神性のようなものが果たしてどれだけ成長しているのだろうかと恥ずかしくなるばかりである。何の道でも同じだと思うが、進み始めるとキリが無い。ゴールも無い。

ゴールは無いが、理想はある。それは「古典のような作品を書くこと」だ。ここでいう古典というのは、「昔の人によって書かれた書蹟の中で、現代人が学んでも感動を与えてくれる立派な作品のこと」である。例を挙げるとすれば、王羲之の「蘭亭序」や、空海の「風信帖」といったところがイメージしやすいだろう。これらの古典は技術的なものは当然であるが、眺めていると心が和んだり、励まされたり、癒されたりと様々な感動を与えてくれる。こういう感動を与えられるようなものを表現することが私の理想である。

感動を与えられる作品を書くためにはこれらをしっかり学ぶことはもちろんだが、「感性」を育てなければならぬと思う。「感性」を育てるためには、本物に触れなければならぬ。本物に触れなければその対象が持つ雰囲気や十分感じとすることは出来ないように思う。

私にはこの冬休み、ずっと前から楽しみにしていたことが一つある。それは福岡で開催される「古谷蒼韻」という日本を代表する書家の個展を鑑賞することだ。この書家の作品を眺めていると、心がグーッと引き込まれる気がする。いろいろと考えさせられる。言わば古典と同じである。

皆さんにも芸術に触れる機会を積極的に作ってもらいたい。別に「書道に触れろ！」とは言わない。絵画でも古典音楽でも焼き物でも何でもいい。芸術に触れて「感性」を育ててもらいたい。いずれはその感性が「文化力」に繋がるだろう。

せっかくの冬休み。有意義に過ごそう。

2 3 H R 副担任 H・Y

## 週行事予定表（12/25～1/7）

月	日	曜	行 事 内 容	備 考
12	25	火	冬季課外（課外①）	8：15着席
	26	水	冬季課外（課外②） 中学2年生向けオープンスクール	8：15着席
	27	木	冬季課外（課外①）	8：15着席
	28	金	冬季課外（課外②）	8：15着席
	29	土	年末休暇	
	30	日	年末休暇	
	31	月	年末休暇	
1	1	火	元日	
	2	水	年始休暇	
	3	木	年始休暇	
	4	金		
	5	土		
	6	日	宮崎東高校スクーリング	
	7	月	3学期始業式 服装・容儀指導 第5回実力養成考査	8：20登校

★皆様、良い年をお迎えください。